

辻南小学校コミスクだより

令和6年度コミュニティ・スクール始動！

～ 南風委員会スローガン「考動する辻南っ子」の具現化へ ～

6月7日（金）に第1回辻南小学校学校運営協議会を開催しました。委嘱状の交付を行い、学校運営協議員14名による令和6年度学校運営協議会が始動しました。

令和3年度から始まったコミュニティ・スクール。コミュニティ・スクールは学校が抱えている課題等を解決する組織です。また、学校・地域・家庭が協働して地域の未来を担う児童の育成に携わること家庭、地域、学校が当事者意識をもって連携し、地域とともにある学校づくりの実現や協働・連携した子どもの育成が求められています。子どもを中心に関わる人たち一人ひとりのWell-Beingを大切にしたい取組をし、めざす子ども像を具現化していきましょう。

令和5年度は、以下の学校の目指す児童像実現のために

「よく考え、学び合う子」「優しく思いやりのある子」「ねばり強くものごとに取り組む子」



人と人をつなぐ「あいさつ」ができる子どもの育成

を図る取組を学校・地域・家庭が協働して行ってきました。その取組を継続しつつ、さらに令和6年度は、目指す児童像実現のために児童が動きました。その第一歩が、南風委員会が決めたスローガンです。

南風委員会がスローガン 「考動する辻南っ子」

～ ㊦ つこつ勉強 ㊧ ンドウを楽しむ ㊨ ンドンチャレンジ ㊩ つくい学校に～

この子どもたちが主体的に決めたスローガン実現のために、会長の議事進行で家庭、地域、学校が3グループに分かれて熟議を行い、取組を総括しました。各グループから出た主な意見は以下の通りです。

家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭で指示待ちが多いので、ゆとりのある時間に振り返りをさせたい。また忘れないように記録をすることも必要である。 ・大人の「ものさし」と子どもの「ものさし」が違うので子どもの「ものさし」を大切にしていける必要がある。
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の活動」（イベント）を上手に伝える工夫が必要→南風委員会に直接お願いする取組 ・特に盆踊りは子どもが踊れないので、ロング昼休みなどを利用して練習してもらおう取組もよいのではないか。 ・子どもが「考動」し、それを大人が受け止めて動くことが大切である。
学校	<ul style="list-style-type: none"> ・「考動する辻南っ子」というスローガンを基にサブテーマが具体的でよくわかる。 ・今までやってきたことがどこにつながっているのかメタ認知させることが大切である。 ・「どんどんチャレンジ」を具現化するのに主体性を伸ばす場や仕組みを用意する必要がある。

上の意見を受け、家庭・地域・学校が当事者意識をもち連携していくことが必要です。より充実した取組を継続・推進していくことになりました。その他、各学校の学校経営の基本方針等のさいたま市学校運営協議会規則第5条に基づいた承認やいじめ防止対策委員会について話し合いが行われました。いよいよ次回第2回学校運営協議会（10月11日）に南風委員会児童が参加し、児童の取組をプレゼンするとともに、委員との意見交換の場を設定します。子どもたちと委員の皆さんでどんな熟議になるかご期待ください。

辻南小学校コミスクだより

南風委員会(代表委員会)が熟議に参加！

～ 南風委員会の取組のさらなる推進のために ～

10月10日(木)に第2回辻南小学校学校運営協議会を開催しました。開会行事の後、学校集金業務のデジタル化の説明、学校評価のお願い、学校配当予算の執行状況の報告をしました。

「考動する辻南っ子」実現のためにそれぞれが実施した取組を報告しました。実施した取組は以下のとおりです。

地域	<ul style="list-style-type: none"> ・7月…夏祭り、子ども神輿、盆踊り練習会 8月…盆踊り 10月…地区運動会実施予定 特に7月に辻南小学校で実施した盆踊り練習会はたくさんの児童に参加してもらい地域の取組に参加するきっかけづくりとなった。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・エコフェスタを実施した。エコロジカルを意識して廃材を利用した。中学生ボランティアや少年団、キッチンカーの参加もあり大盛況だった。 ・プール開放とワンポイントレッスンを7月末に9回実施した。プール開放参加児童150名、ワンポイントレッスン参加児童50名、中学生ボランティア23名参加。 ・謎解きイベントを7月30日に実施した。参加児童46名、浦和南高校ボランティア18名参加。埼玉新聞社の取材もあり、後日新聞に掲載された。
南風委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・優しい言葉の花づくりを実施し、言葉遣いを考えるきっかけとなった。 ・いじめ防止の取組実施 ・運動委員会と連携して運動キャンペーン実施した。 ・美化委員会と連携して進んで掃除ができるように掃除の仕方をテレビ放送で示した。

南浦和中学校と合同であいさつ運動をしました。恥ずかしがっている人もいたので少しずつできるように呼び掛けました。



7月に辻南小学校で盆踊り練習会を開催しました。たくさんの子どもたちが参加してくれました。



その後、南風委員会16名が、4グループに分かれて熟議に参加しました。熟議のテーマは「南風委員会の取組をさらに推進するためにどうしたらよいか」でした。

子どもたちは小グループで大人たちに交じって緊張しながらもしっかり意見交換ができました。各グループでどんな意見が出されたか予想以上に子どもたち自ら積極的に全体へ報告する姿が見られました。熟議の当事者として子どもたちが「考動する」姿を見せてくれました。最後に給食会食を実施し、委員と子どもたちが交流を深めました。

エコレンジャーに11名の先生に出演していただきありがとうございました。



○各グループの主な意見

Aグループ

- ・運動を楽しむ人を増やすためにロング昼休みの過ごし方を学級で話し合った。その結果、ロング昼休みはパソコンを使用せず、学級でレクリエーションをすることにした。雨の日も椅子取りゲームなど声を掛け合ってレクリエーションを楽しんでいる。クイズ大会など学習が得意な人が活躍できる活動も企画したい。
- ・地域にどんどん出てきてほしい。地域の行事にどんどん参加して地域を知ってほしい。何にでも興味を持ってほしい。失敗を称賛する雰囲気を作ってほしい。

同じ時間に4種目の運動イベントを企画しました。

Bグループ

- ・同じ時間に4種目の運動イベントを企画した。
- ・あいさつ運動を実施したが、あいさつを返さない人もいるので、あいさつをしっかり返せるようにしたい。
- ・掃除に集中できていない実態があるのでなんとかしたい。

Cグループ

- ・あいさつ運動をした結果、目を合わせて笑顔であいさつする児童が増えた。
- ・交流を他学年としたい。

Dグループ

- ・辻南っ子祭りのようなイベントや地域との交流を増やしたい。夏休みに集まって行事を実施したい。

熟議の総括・まとめ

- ・交流する機会を増やせばよいが、いろいろ調整が必要である。
- ・手作りでやった体験が心に残る。持続可能かどうかでも大切なのでバランスをとって取り組んでいきたい。
- ・盆踊り練習会や辻南っ子祭りの準備は、ロング昼休みをうまく活用していた。今後も無理なく実施するためにロング昼休みを活用したい。

第2回の学校運営協議会は子どもたちが地域や家庭の取組や取り組むにあたってのそれぞれの想いを直接知るよい機会となりました。この経験が子どもたちの今後の活動の大きな示唆になったことでしょう。子どもを中心に関わる人たち一人ひとりのWell-Beingを大切にしたい取組をし、めざす子ども像「考動する辻南っ子」の具現化していきましょう。

学校運営協議会委員の皆さんと給食を一緒に食べ、楽しいお話をたくさんしました。とても良い経験になりました。



辻南小学校コミスクだより

今年度の取組を総括！

自己肯定感の向上が
感じられる姿がたく
さん見られました。

～ 南風委員会の取組のさらなる推進のために ～

2月13日(木)に第3回辻南小学校学校運営協議会を開催しました。開会行事の後、授業参観、学校自己評価システムシートや学校評価アンケート結果を基に学校運営及び取組実践に関する報告をしました。

次に、学校自己評価システムシートに基づいた協議を行い、今年度の取組を総括しました。以下、各取組に関する主な意見や評価です。



<p>学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観では、自己肯定感をもって発表する姿が見られた。 ・タブレットの利用が進み、子どもたちのスキルも向上している。 ・ICT活用が進む半面、デジタルに頼ってしまい、読み書きのスキル、自分で考える力や国語力をどう向上するかが課題となる。また、予習にもタブレットを生かしていけるようになるとうい。 ・今後子どもたちに付けたい力として、自己アピールする力が必要ではないか。ディスカッションやプレゼンテーション等を通し、自分の意見を発信できる場を増やしていきたい。
<p>安全・安心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導に、褒めて伸ばす教育の定着が感じられる。一方で、危険が伴う場面では厳しさも必要ではないか。怒ると叱るを分けて指導できるとよい。 ・不審者が多発しているのので、学校・保護者・地域が三位一体になって危機管理できるとよい。 ・子どもの怪我の増加、体力低下が心配される。体を動かす場面が増えるとよい。
<p>地域とともにある学校</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事への参加者が増えた。教職員の参加も感謝している。 ・代表委員会児童に「考動」が浸透しているのを感じた。学校運営協議会で児童と話し合い、生の声を聴くことができ、よい刺激となった。 ・辻地区では、小・中・高の連携もある。ここに地域も関わり盛り上げたい。子ども達が高校生に憧れを持つことができるように合同で行う活動を増やしていくことも大事ではないか。
<p>教員の資質向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教員個々のペースを大切に、若手のよさを生かせるとよい。 ・保護者対応は、子どものことを一番に考え、教員が遠慮しないほしい。 ・ICT活用で、教員の働き方が改善されたのはよい。子どものためには、教職員の心の安心・安全を守ることも大切である。 ・外部だけでなく保護者にも専門家がいたので、活用したい。



児童の自己肯定感の向上や授業におけるICTの活用については高い評価をいただきました。いただいた評価を来年度の学校運営に生かしていきます。

その後、来年度の学校教育活動の変更点を中心に来年度の学校運営に関する基本的な方針の説明をし、仮承認されました。また、小・中・高連携（4校）への支援についてさいたま市教育委員会への意見の申出がありましたので、さいたま市教育委員会に学校運営協議会長名で申出を行いました。

今年度は南風委員会のスローガン「考動する辻南っ子」の実現のために学校運営協議会で取組の方針を決め、学校・家庭・地域が当事者意識をもって「考動する辻南っ子」のためにご尽力いただきました。来年度も子どもを中心に関わる人たち一人ひとりの Well-Being を大切にした取組をしていきましょう。どうぞよろしくお願ひします。